

総務文教委員会報告の

「議案を否決」する報告に反対

公明党津山市議団 原 行則

このたびの工事請負議案は小中学校の耐震化工事が主であり、この入札について談合情報が寄せられ、当局において警察なども協議、調査した結果、談合の確たる証拠はないとの結果であった。しかし、委員会では談合の疑いが残るとの理由でこれらの議案は否決されたが、この耐震化工事は子どもたちの命を守る最重要事業で国の補正予算で前倒して行うことが前提であり、この機を逃せば国の支援が受けられない。また否決され工期が半年延びれば市は新たに6億8千万円もの負担を生じる。ゆえに、確定できない事実を持つて子ども安全にかかわる工事請負議案を否決することに反対する。

入札に談合情報があれば

慎重な調査が必要

日本共産党津山市議団 末永弘之

小中学校の耐震工事、ときわ園新築工事などの「入札・契約議案」について、総務文教委員会と厚生委員会の「報告」が、当局提案の「議案」から言うとは反対と賛成で全く違う結論が出された。委員会の独自性で仕方ないことだが、本会議で結論を出すといずれかの委員会に「傷がつく」という結果になる。本会議の名によって、常任委員会の結論に「傷をつける」と言うのは、極力議員皆が「避けなくてはいけない最低の心がけ」だと思ふ。その点では、継続して「意見調整を試みる」のもあり方では。談合など「確定できない課題」から賛成するのではなく「何が真実かを徹底的に調査して確定すべき」。それが議会の役割では。また、幾つかの企業の「技術者の登録のあり方」も疑問が出された。この点でも信ぴょう性もあり、もっと調査・研究すべき。その点で契約行為に反対し、その他の案件は賛成する。

6月定例会で同意した人事案件

6月定例会では、左記の人事案件が提案され同意することに決定しました。

固定資産評価審査委員会委員の選任について

津山市高尾137番地 有木俊恵(54歳)

人権擁護委員候補者の推薦について

津山市阿波3004番地 小椋宏栄(54歳)

(年齢は議決日(6月25日)時点です。)

表紙写真について

今回の撮影は、勝北風の子ども園、清泉幼稚園、成名幼稚園におじゃましました。

勝北風の子ども園に通園している園児(児童)は183人です。今回は、5歳児(45人)を撮影させていただきました。保育目標は、「自然や人との

かわりを通して、心身ともに健やかな子どもを育てる」で、「健康的な生活習慣と生活リズムを身につける」を重点目標にされています。

清泉幼稚園に通園している園児(児童)は10人です。教育目標は、「心豊かで、たくましい子どもを育てる」で、「自分の気持ちを言葉で表現する楽しさや思いを伝え合う喜び、相手を思いやる心を育てる」を指導の重点にされています。

成名幼稚園に通園している園児(児童)は45人です。教育目標は、「のびのびと主体的に生活する子どもを育てる」で、「様々な体験を通して、豊かな心を育てる」を指導の重点にされています。

第14回「森林を考える岡田県民のひびき」

10月26日(土)にグリーンヒルズ津山で開催を決定しました。たくさんの方のご来場をお待ちしています。



編集後記

6月定例会は、真夏をおもわせる好天気の中、3日から開催されましたが、25日の最終日のころは、「梅雨の雨」になりました。今年は「梅雨のおやすみ」といわれ、猛暑のような日や、大雨の予想もあり、市民の皆さん、被害など大丈夫でしたか。市議会もいろいろでしたが、何とか無事に定例会を終えることができました。入札・契約行為による「談合情報」で終始した感がありましたが、今後、市議会としても、「新しい入札制度の確立」「談合対応マニュアルの改革」などへ精力的に取り組みます。「だより」が届くころはこよみの上では立秋とおもいます。健康には気をつけてください。 (弘)

6月定例会は美術館について質問。これまでも長年にわたり多数の議員から異口同音に「津山市に美術館が必要。ぜひ建設を！」との質問が続いていました。 (憲)

今年の水無月は雨の降らない空梅雨だ。陰曆では5月ごろ降り続く長雨のことだが農業者たちも大変だと思ふ。今年のコメのときは気になるところ。雨が恋しい(康)

談合問題で揺れた今議会、談合防止マニュアルの強化入札制度の見直しなど防止対策が必要。まずは、企業のコンプライアンス遵守の姿勢を見せてほしい。 (謙)

広報調査特別委員会メンバー

- ◎末永弘之 ○安東伸昭
秋久憲司、岡田康弘、岡安謙典
黒見節子、竹内靖人、吉田耕造